

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	美濃市立美濃中学校		
実施期間	平成25年10月5日(土)、11月2日(土)		
実施概要	1) 教育講演会(10月5日) 本校の校区にある企業の社長さん及び社員の方々を講師に迎え、中学生が、人としての生き方について自分を振り返る機会となるような講話を聞く。 2) 資源回収(11月2日) 全校生徒が保護者と協力し、地域ごとに各家庭を訪問し、資源を回収する。		
実施内容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来校者数	保 護 者	170 人	計 176 人
	地域関係者	6 人	
実施状況	1) 教育講演会 10月5日(土) 航空機関係の部品を製作する(有)シオンは、昨年、全日本製造業コマ大戦で優勝し、複数のテレビで報道された。講演会に先立ち、この報道番組の録画を生徒に視聴させ、会社の概要や社長さんの願い等をあらかじめ理解して講演会に臨んだ。 当日は、社長さん以下5名の社員の方々が、入社したいきさつや、仕事に対する思い、組織の中で働くことの意義などを、実体験を踏まえて具体的にお話いただいた。 2) 資源回収 11月2日(土) 全校生徒が地区ごとにわかれ(分団)、集合場所や活動時間を決定する。分団長は、事前にPTA地区委員さんと協議する。生徒は保護者と協力し、担当の地区の家庭を訪問し、資源を回収する。各地区の担当職員も共に活動をする。集積場所は、全6箇所であるが、回収量の多い集積場所には、各地区から代表生徒の応援を要請して対応した。		
成果及び課題	1) 教育講演会 10月5日(土) TV放映された全国コマ大戦の様子を事前に視聴したり、夏休みにシオンで職場体験を実施した生徒から会社の様子を聞いたりして、シオンに関する情報を全校生徒が共有した。さらに、講演会の事前、事後に、社長さんや社員の方が登校時に校門で生徒にあいさつをしてくださるなど、積極的に生徒と関わる機会を作っていただいた。このことで、講演会が単発的なイベントに終わることなく、社員が一丸となって理想と目標に向かう、熱い気持ちの会社があることを理解することができた。 2) 資源回収 限られた時間ではあるが、保護者と一緒に活動することは、貴重な体験の一つである。保護者も、大変協力的であり、生徒も、保護者とともに、よく活動することができた。地域の方々も、中学校の資源回収をあてにしている下さりと、生徒たちにとってもやり甲斐を感じるものとなった。 また、生徒会長が本活動の意義について全校生徒に話をするなど、自分たちの学校づくりに寄与する意欲と態度を高めた。		